

応用製剤例

乳液、クリーム

ペリセアの機能

◎	スキンケア機能
	ヘアケア機能
	オイルゲル形成機能
	乳化分散能

ペリセアを乳液・クリームでご使用いただく場合は次の2つの使用方法があります。

1. スキンケア機能を応用
2. 乳化機能とスキンケア機能を同時に応用

このシートでは、1. スキンケア機能の応用についてご紹介します。

特長

- ・ ペリセアのスキンケア機能を応用した乳液が処方できます。
- ・ 角層内部に浸透し、細胞間脂質でラメラ液晶構造を形成。傷んだ肌を健康な肌へと修復します。
- ・ セラミドよりも角層への浸透性に優れます。
- ・ 優れた使用感(保湿感・浸透感)が得られます。

効果

- ・ 傷んだ肌の角層水分量やTEWLを回復させます。
- ・ 肌のキメ・弾力を回復させます。
- ・ 優れた使用感(保湿感・浸透感)が得られます。

推奨グレード・推奨配合量

- ・ ペリセアLB-10 1.0%
 - ・ ペリセアL-30 0.3%
- ペリセア固形分として0.1%

処方上の注意点

- ・ ペリセアは塩類ですので、カルボマー等の増粘剤を併用される場合は、耐塩性グレードを推奨します。耐塩性グレード以外では粘度低下を起こす可能性があります。

ペリセアのグレードラインナップ

品名	ペリセアLB-10	ペリセアL-30
表示名称	ジラウロイルグルタミン酸リシンNa (10%) BG (10%) 水 (80%)	ジラウロイルグルタミン酸リシンNa (29%) 水 (71%)
荷姿	18kg缶	1kg缶、18kg缶

肌のキメの回復

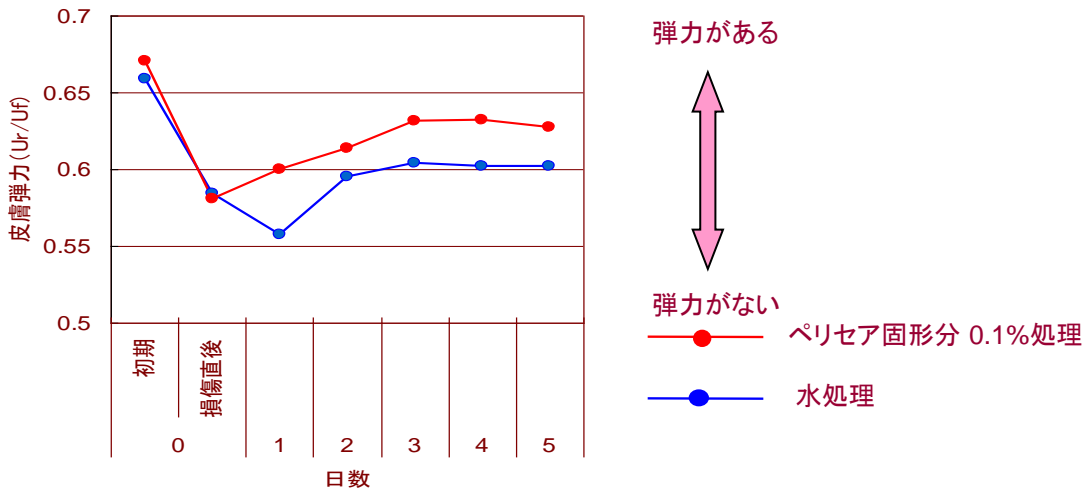
ペリセア塗布(固形分濃度0.1%)により、皮膚のバリア機能を速やかに改善し、肌のキメを回復させます。



荒れ肌作成(ヤシ油脂肪酸カリウム石鹼33%水溶液を1時間閉塞貼付)後、ペリセア固形分濃度0.1%水溶液を1日2回塗布して観察した。

肌の弾力の回復

ペリセア塗布(固形分濃度0.1%)により、皮膚の弾力の回復も確認されます。



試験条件(前腕内側部): 荒れ肌作成後(脂肪酸カリウム石鹼処理)、0.1%試料水溶液を1日2回塗布して弾力の推移を確認。塗布量:2 μ L/cm², 装置名: CUTOMETER MPA580, 測定モード1 (Measurement in Mode1), 吸引時間(The Suction time):2秒間, 解放時間(The Relaxation time):0.1秒間

処方例

乳液

	原料名	メーカー	表示名称	配合%
A相	MSG-ASEV	日光ケミカルズ	ステアリン酸グリセリル(SE)	0.5
	BC-20	日光ケミカルズ	セテスー20	1
	HCO-20	日光ケミカルズ	PEG-20水添ヒマシ油	1
	オリーブスクワラン	日光ケミカルズ	スクワラン	5
	NIKKOL CIO	日光ケミカルズ	エチルヘキサン酸セチル	6.5
B相	化粧用濃グリセリン	花王	グリセリン	3
	1,3BG	和光純薬	BG	2
	2%カーボホール981水溶液	CBC	カルボマー、水	5
	精製水		水	69
	ソルビトール花王 ペリセアLB-10	花王 旭化成	ソルビトール、水 ジラウロイルグルタミン酸リシンNa、BG、水	1 1
C相	50%水酸化ナトリウム	和光純薬	水酸化Na、水	0.08
	精製水		水	4.92

調整方法: 1. A相とB相をそれぞれ80℃まで撈拌混合した後、80℃でホモミキサー(5000rpm)で撈拌しながらB相にA相をゆっくり添加する。
2. 全て添加したら80℃のまま、5分間撈拌を続ける。その後、撈拌しながら冷却を行う。50℃になったらC相を添加し常温になるまで撈拌を続ける。(6000rpmだと泡立ちが激しいので注意)

掲載のデータ・数値は、一定の試験法に基づき当社が得た代表値であり、保証値ではありません。また、これらのデータや数値は、物性の改良のため変更する事もあります。当社では安全データシート(SDS)を作成しておりますので、お取扱前にはご参照ください。

ペリセアをご使用になった製品の安全性及び関連法規への適合性ならびに第三者の有する知的財産権への抵触に関しては、貴社にて調査くださいますようお願い致します。